

新薬の価格設定：デッドロック（行き詰まり）

Prescrire Int.2025 Vol.34 No.273 P.199 を本誌で翻訳

医療保険制度の収支を均衡させながら、非常に高価な新物質へのアクセスを提供することは可能でしょうか？ 製薬業界の利益最大化追求により、こうした相反する圧力との折り合いをつけることがますます困難になっています。

2000年代以降、多くの製薬会社は「ブロックバスター」から「ニッチバスター」へと重点を転換してきました。ブロックバスターとは、大量に販売されることで非常に高い収益を生み出す医薬品であり、ニッチバスターとは、主に希少疾患やがん患者など、少数の患者に非常に高い価格で販売される医薬品です [1]。

非常に近い。言い換えれば、製薬会社は最富裕国が支払う意思のある金額枠を最大限に活用していることになります。

この価格戦略により、世界中の多くの患者にとって新しい治療へのアクセスがますます困難になっており、当の薬剤が真に治療上の進歩をもたらす場合には、問題になります。国際的な市民運動は、南アフリカ、ブラジル、インド、ウクライナに対し、これらの国の患者が手の届かない価格のカフトリオ®の特許を承認しないよう請願しました [5]。

製薬会社ブルーバード・バイオは、スカイソナ®